

校長研修だより48

推薦書

2022・3・23 重枝 一郎

これはあくまで架空の話である。私とその先生の推薦書を書くことになったとする。太字の箇所は、重要な観点ということである。

推薦書

〇〇におきまして、〇〇先生を適任者として推薦いたします。

〇〇先生は、福岡女学院中高に〇〇年間勤務し、**〇〇や〇〇などの役職を経験し**、多くの学校関係者や生徒・保護者から信頼されている人物です。〇〇な性格の持ち主で、**協調性**についても問題ないと認識しております。本校の発展において、〇〇先生の**これまで培った経験や発想力**は、必ず役に立つ人材であると確信しております。

〇〇先生の能力とこれまでの実績を関連付けながら紹介します。

まずは、「**現状認識力**」についてです。〇〇先生は、〇〇の立て直しや〇〇の活性化等の実績からもわかるように、**多くのリーダー経験**をしています。その度、環境の変化を捉え、業務を理解し、課題の要所をおさえる能力が高いと思います。

次に、「**組織形成力**」についてです。前述した経験においても、組織集団の力を引き出し、意識を高め、職場を活性化させる能力・意欲が高いと思います。私の知るところでも、どの組織においても、目に見える数値でも結果を出しています。

そして、「**組織形成力**」に関連した、「**人材育成力**」や「**包容力**」についても、的確な助言や指導によって若年層育成を促していく能力が高いと思います。

最後に、〇〇先生の一番の魅力にもなりますが、「**人間力**」についてです。多くの教育に携わる人たちから、**慕われ、尊敬され、「この人の話を聞きたい。この人に話したい」といった、人を引き付ける能力が非常に高い**ということです。

これまでの〇〇先生の実績、そして、人間性からもわかるように、〇〇先生の突出した才能は、〇〇においても、変わることなく発揮されると確信します。何卒、ご配慮いただきますよう、よろしく願いいたします。

重枝一郎

私は、「**教育は人なり**」という言葉が頭の中を支配している。上の架空の推薦書は、私が先生方に期待する「**あり方・生き方**」につながると考えている。このたよりの1号にも書いたが、「**カッコいい大人**」の定義は「自分のことばかりでなく、まわりの人のことも考えられる人」である。誰かが何かをやってみたら、**それを喜び合い、よい反応を示し、成功体験を積み合う**ことが、私たち自身が先の未来を強く生きていけるようになる秘訣だと思う。どこでも、誰とでもやっていける力をもって、本学院で力を発揮してほしい。

この1年間、本当にありがとうございました。
また、来年度も今年度以上に楽しく頑張りましょう。
本年度の最後のあいさつにかえさせていただきます。